

新羽雨水調整池工事

発注者 : 横浜市
施設所在地 : 神奈川県横浜市港北区新羽町
調査見学時期 : 平成 16 年 3 月 9 日
工事概要

午後一番の見学先として、港北区新羽町の横浜市営地下鉄の車両基地内に建設中（4月竣工）の 89,000m³ の容量をもつ、市で最大級の雨水を貯める新羽調整池・滞水池築造工事現場を訪問しました。

まず、日本下水道事業団東京支社神奈川工事事務所三谷副所長の施設概要説明を受けた後、フジタ・五洋・日産・奈良建設共同企業体石澤所長から連続地中壁工事、構真柱工事、躯体築造工事の説明を受けました。深さ約 75m の連続地中壁、直径 1m 強の鋼管構真柱、掘削深さ約 50m、土木としては珍しい高流動コンクリートの使用の話が特に興味を引きました。

その後、工事現場の見学しました。調整池の最上部の開口から下を覗いた時、底がはるか下に見えて、その巨大さにびっくりさせられました。洪水の場合、施設全体が浸水してしまうので、地下鉄の車両が 2 階に停まっていたことも印象的でした。（GEC ニュース第 175 号より抜粋）

